

## 式辞

舞鶴湾の水面を渡る風にも、春の息吹を感じる季節となりました。本日ここに、京都府議会議員 小原 舞様をはじめ、多数の御来賓と御家族の皆様の御臨席を賜り、令和6年度京都府立西舞鶴高等学校卒業証書授与式を盛大に挙行できますこと、高壇からではございますが、厚く御礼申し上げます。

さて、ただ今、卒業証書を授与しました全日制課程187名、通信制課程34名の皆さん、卒業おめでとう。たくましく成長された皆さんを世に送り出すことは、我が校にとって最大の喜びであり、教職員一同、心から祝福申し上げます。

多くの皆さんが高校に入学した3年前、日本だけでなく世界中が大きな変化の渦中にありました。新型コロナウイルスの影響により、社会全体が未曾有の状況に直面しており、皆さんは中学校時代から引き続いて、さまざまな制限のある学校生活を送ることを余儀なくされてきました。その後、マスクの着用は個人の判断に委ねられるようになり、少しずつ日常を取り戻していきましたが、制限の多い高校生活を経験することになりました。一方で、ICTの急速な発展により、教育のあり方も大きく変わりました。タブレットやクラウドの活用、AI技術の進展により、学びの形はこれまでとは異なるものになりました。今後、さらに進化するAIなどの技術は、日常生活や仕事の中で重要な役割を果たしていくと思われませんが、皆さんには、それらの技術をどのように活用するか、使い方をどのようにデザインするかを大切にしてほしいと願っています。

また、私たちは近年、自然災害の多発という課題にも直面しています。台風や豪雨、地震などが全国各地で発生し、地域社会の在り方を改めて考えさせられました。ここ舞鶴市も、豊かな自然に囲まれた美しいまちですが、災害のリスクと無縁ではありません。皆さんがこれからの未来を築く中で、持続可能な社会の実現に向けた意識を持ち、地域を守ることの大切さを忘れないでください。

さて、本日は、今後皆さんが幾度となく繰り返す「出会い」についてお話をしたいと思えます。これまで、西高での生活はもちろんのこと、様々な場面でいろいろな方との出会いさらには別れを経験してきたことと思えます。4月から始まる新しい生活でも、同年代、異年代を問わず、多くの人との出会いが繰り返されます。誰といつ出会うのか、そのタイミングによって人の進む道は変わるかも知れません。我々は他者からの影響を受けながら、失敗や成功を重ねて成長していくからです。出会いは人生を変えるかもしれませんので、どのような人にも誠実に向き合うことを大切にしてください。茶道の世界では、茶会に臨む際、その機会は二度と繰り返されることのない、一生に一度の出会いであるという心構えを持ち、亭主と客が互いに誠意を尽くします。これを「一期一会」という言葉で表します。出会いの大切さを示す言葉は他にも数多くありますが、このことは先人たちが出会いの価値を深く認識していた証しと言えるでしょう。ある海外の研究では、2007年に日本で生まれた子供の半数が107歳より長く生きると推計されています。人生100年時代といわれても、実感が湧かないかもしれませんが、皆さんの長い人生の中で、多くの出会いを楽しんでください。また、成長していく過程での「まだ知らない自分」、「未見の我」との出会いも楽しみにしててください。

全日制では、日々の授業、学校行事、部活動やボランティア活動などを通じて、主体的に学び考える力、多様な人とつながる力、新たな価値を生み出す力が育まれたと思います。普通科と理数探究科、学びの内容においては、異なる部分もありましたが、3年間の西高生活で、第7回卒業生の皆さんの絆は強く結ばれたと思います。皆さんにとって、西舞鶴高校は、学びの拠点であると同時に「努力と友情」の大切さを学ぶ場でもあったと思います。

通信制での学びには、週一回のスクーリングと多くのレポート作成の苦勞がありました。テストに向けた学習を自分のペースで進めることも大変だったと思います。中学校を卒業後に入学した人、他の高校から転入した人、新たに学び直そうと入学した人など、入学の経緯もさまざま、人間関係の悩み、体調不良、仕事や家事との両立など、多くの困難と向き合ってきました。そして、その困難を皆さんは見事に乗り越え、卒業までたどり着くことができました。西舞鶴高校に在籍した期間は、短い人は1年、長い人は10年以上とさまざまですが、本日手にした卒業証書には特別な感情を抱くことと思います。

全日制・通信制、それぞれの学びを修了し、今、皆さんは門出の時を迎えています。楽しかったこと、嬉しかったこと、大変だったこと——西高での日々の記憶と仲間たちの存在が、皆さんの未来を支える力となることでしょう。本日をもって西舞鶴高校は皆さんの母校となります。卒業は一つの到達点であると同時に、新たな学びと挑戦への出発点でもあります。4月1日には、すべての卒業生が法的な成人となり、新しい生活をスタートさせることとなります。自由と権利が広がる一方で、相応の社会的・経済的な責任を果たすことも求められます。変化を前向きに捉え、未知なるものに挑戦する勇気、転んでも立ち上がる回復力、他者につながりより良い変化を生み出す行動力を磨きながら、前へ進んでください。皆さんの未来を心から応援しています。

後になりましたが、保護者の皆様におかれましては、お子様の御卒業、誠におめでとうございます。晴れの姿を御覧になり、感慨もひとしおのことと拝察いたします。お子様の事で心ときめくこともあれば、時に心配で眠れぬ夜もおありだったことと思います。子育てや教育について振り返る時、実は我々大人の方が子どもによって学んできたと感じることが多いと思います。一方で、皆様の子育ての姿から我々教職員も多くのことを学ばせていただきました。これまで賜りました本校の教育に対する御理解と御協力に、感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

最後に新しい旅立ちをされる卒業生の皆さんに、あらためて心からお祝いを申し上げますとともに、今後の活躍を祈念し、式辞といたします。

令和7年2月28日

京都府立西舞鶴高等学校  
校長 田邊 仁司